



建築研究所ニュース

平成 24 年 7 月 25 日

耐震建築人材育成プロジェクトによる 「中国耐震建築研修」の研修生 18 名が帰国

建築研究所・国際地震工学センターにおいて実施された第4期「中国耐震建築研修」の研修修了生18名が、約2ヶ月間の研修を受講し、7月31日に閉講式を迎え、翌日帰国の途に就きます。本研修は、2008年5月に発生した中国四川大地震に対する日本政府の復興支援のため、国際協力機構（JICA）が実施する「耐震建築人材育成プロジェクト」の一環として、2009年度から4カ年の計画で実施されました。

国際地震工学センターでは、これまで国際地震工学研修を実施してきた実績（97ヶ国1,539名の研修修了生）を活かし、中国全土からの18名の構造技術者を対象に、2012年6月5日より7月31日までのスケジュールで「中国耐震建築研修」を実施しました。

研修生は熱心に講義・見学に参加し、7月30日の最終発表会では日中の耐震設計法の比較や、日本の技術を活用した中国の建築物の耐震化について発表することになっています。また、宮城県内の東日本大震災の被災地を見学する等、東日本大震災の教訓を踏まえ、充実した研修内容となっており、帰国後は、四川大地震で被災した中国の小中学校の耐震診断・補強に日本の技術と経験を生かしたいという意見が数多くありました。

本研修によって、耐震建築技術に関する中国の構造技術者の理解が深まるとともに、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物についての耐震技術が今後益々普及することが期待されます。

記

【最終発表会】

日 時：平成24年7月30日(月) 午前9時30分～16時
場 所：国土技術政策総合研究所立原庁舎3F共用会議室2
(つくば市立原1)

【閉講式】

日 時：平成24年7月31日(火) 午前11時30分～
場 所：国際協力機構（JICA）筑波センター 研修棟3F 講堂
(つくば市高野台3-6)

【研修の概要】

研修期間：平成24年6月5日（火）～7月31日（火）
場 所：(独) 建築研究所ほか
参加者：中国の建築構造技術者18名
主な講義内容：耐震設計、耐震診断および補強、免震・制振構造、超高層建築など



写真1 第4期の中国研修生



写真2 被災現地見学（宮城県女川町）

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 国際地震工学センター
管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp